

大阪電気通信大学の学生が 学生目線で電車の運行情報掲示板を開発しました

大阪電気通信大学（大阪府寝屋川市・四條畷市／学長：塩田邦成）のプログラミング研究会の学生が、学生目線の電車の運行情報掲示板を開発し、学内に設置しました。今回開発した電車の運行情報掲示板は、大阪電気通信大学寝屋川キャンパスの最寄駅である京阪電車「寝屋川市」駅から発車する電車の時刻とどのくらいの早さで歩けば間に合うかを表示されており、学生ならではの視点で感覚的な情報までも提供してくれる運行情報掲示板です。10月半ばに設置され、SNSなどで話題になりました。



【本件のポイント】

- プログラミング研究会の学生2人が4週間で開発
- 学生ならではの視点で感覚的な情報を提供
- 運行情報を自動で取得し、遅延情報にもリアルタイムで対応が可能
- SNSで話題に

【本件の概要】

大阪電気通信大学のプログラミング研究会の学生2人（情報通信工学部情報工学科3年）が寝屋川キャンパス最寄駅の京阪電車「寝屋川市」駅から発車する電車の運行情報掲示板を開発しました。学生らは大学を通じて京阪電車の許可を得て、運行情報を自動で読み込むプログラミングを組み込みました。そのため、1分毎の遅延情報を取得して各列車の発車時刻をリアルタイムで訂正することが可能となり、スマホなどで遅延情報を調べなくてもすぐに確認することができます。さらに、発車までどれくらいで間に合うかを学生ならではの視点で表示。「あと10分 早歩きなら間に合います」など、独自メッセージを添えています。

開発した学生らは、日ごろから「学生に役立つものを作りたい」と考えており、友人たちとの会話からヒントを得て今回の開発を思い立ちました。彼らがこだわったのは「わかりやすさ」で、普段から見慣れている駅の電光掲示板に見た目を寄せ、情報が入ってきやすいように工夫をしました。開発期間は4週間ほどで、改善点を見つけては更新を繰り返しています。学生や教職員からも「便利で助かる」と評判は上々で、画像を投稿したSNSでも大きな反響がありました。

【プログラミング研究会】

プログラミングに関する技術や知識を深めるサークルで、勉強会やプロジェクト活動などに参加する事によって知識を蓄え、勉強会を開いたり相談を受けたりすることで技術の定着を目指します。さらに制作物の改善や次の制作物につながるアイデアを見つけてもらう機会として大学祭や活動報告会などでは制作物を発表します。

【関連リンク】

プログラミング研究会
https://x.com/OECU_ProKen

プログラミング研究会の学生が開発し学内に設置した「電車に間に合え！ 運行情報掲示板」が話題に
<https://www.osakac.ac.jp/news/2024/3354>

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

学校法人大阪電気通信大学 法人事務局 広報部広報課 担当：東
TEL：072-824-3325 FAX：072-824-1141 MAIL：kouhou@osakac.ac.jp